

LSWF+LIRテストプロファイルに ついて

IHE - J拡大技術委員会

IHE - J検体系検討WG

2005/11/16参加ベンダーWS用

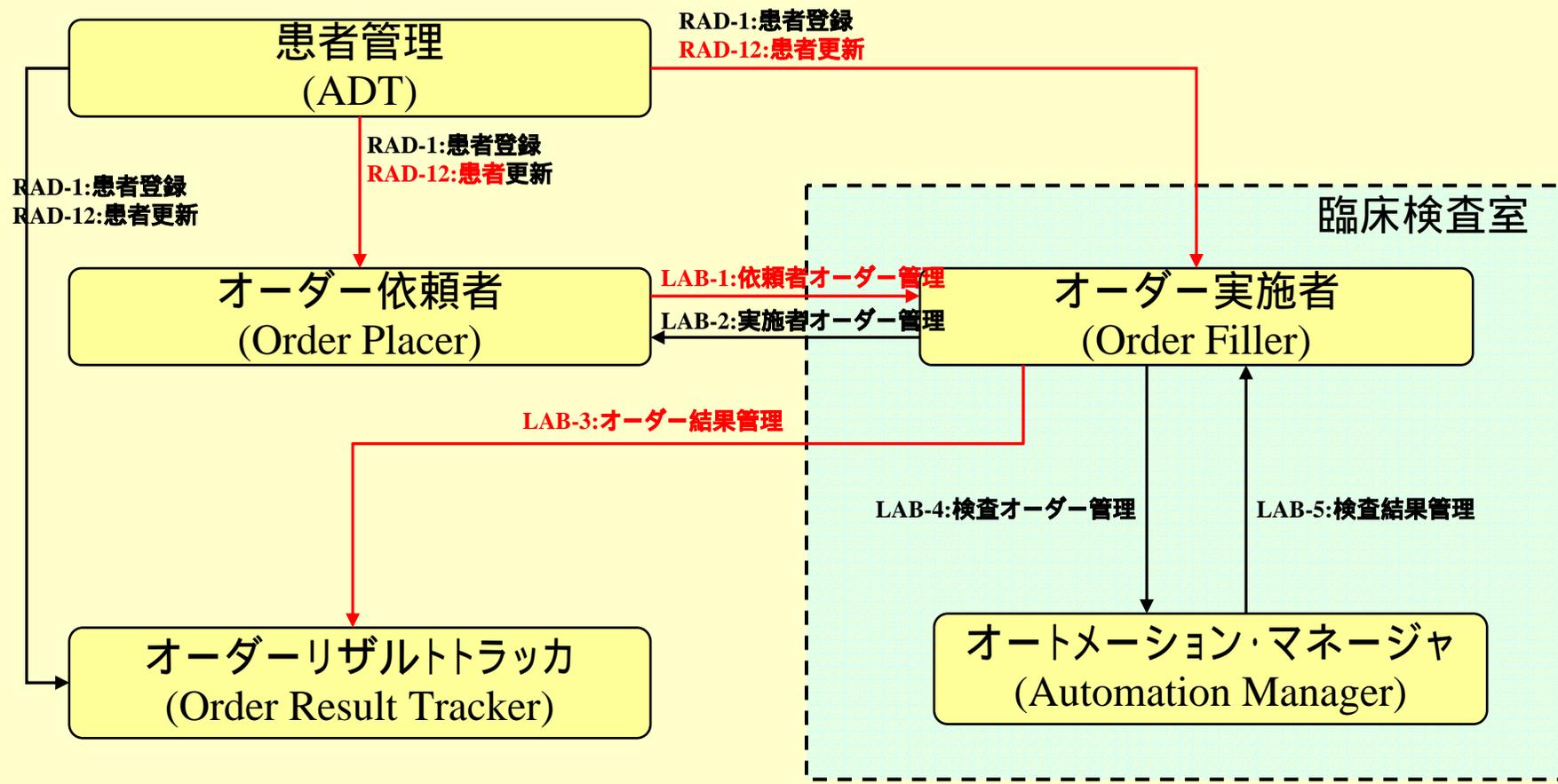
コネクタソン2005の範囲

- LSWF + LIR (一部)
- OF AMとLDA領域はやりません
 - でも来年はやりたいので準備をお願いします
- HL7バージョンはADTを除きVer2.5
- 対象トリガーイベント、通信方式は放射線に準拠します

コネクタソン2005テスト範囲(赤字)



アクターは、抽象化された機能ユニット
トランザクションは、アクター間の情報交換仕様



LSWF基本シーケンス

- 0 . 患者情報通知 ADT OP, OF
- 1 . 依頼電文 (ラベル情報なし) OP OF
- 2 . 削除電文 OP OF
- 3 . 依頼電文 (ラベル情報付) OP OF (ラベル情報はOPで発番)
- 4 . 結果電文 (到着確認) OF ORT
- 5 . 結果電文 OF ORT

使用するメッセージ

- 0 . 患者情報通知 ADT^A08/ACK^A08
- 1 . 依頼電文
 - OML^O33 (ORC1=NW)/ORL^O34
- 2 . 削除電文
 - OML^O33 (ORC1=CA)/ORL^O34
- 3 . 依頼電文(ラベル情報付)
 - OML^O33 (ORC1=NW)/ORL^O34
- 4 . 結果電文(到着確認)
 - OUL^R22/ACK^R22
- 5 . 結果電文 OF ORT
 - OUL^R22/ACK^R22

メッセージ型の記述について(MSH - 9)

- HL7の推奨にしたがって第3成分を記述する
 - OML^O33^OML_O33
 - ORL^O34^ORL_O34
 - OUL^R22^OUL_R22
 - ACK^R22^ACK
- のように第3成分を記述する
 - (HL7 第2章 table0354 参照)
- ADTもADT^A08^ADT_A01のように記述すべきだが今回は除外

ORL^O34^ORL_O34の扱い

- ORL^O34^ORL_O34
- MSH
- MSA
- [{ERR}]
- [LDWFにはこのカッコは無いがHL7にあるので放射線に倣って省略する
- [PID]
- {
- SPM
- [{SAC}]
- [{
- ORC
- [{TQ1}]
- [OBR]
- }]
- }
-]

項目コードについて(OBX - 3)

- コーディングシステム名を記述する
- 検査項目コード ^ 検査名称 ^JC10
- 患者プロフィールコード(身長、体重など)は
- “JSHR”
- ローカルコードの場合は“L1”などL + 体系Seqで表現

迅速区分について

- オーダー毎はTQ1-9(優先度)
- 項目毎はOBX-13(使用者定義アクセス点検)
- HL7では
S,A,R,P,C,T,TS<integer>,TM<integer>,TH<integer>,TD<integer>,TW<integer>,TL<integer>,PRN
- 等が定義されているが、今回はS(tat)、R(outine)を使用する

ADTと患者属性について

- 基本は放射線に従います
- 住所、電話番号等でLIS側で保存していない情報があれば結果電文はNullでOKとします

LIRについて

- ATDで患者名を変更してOP, OF側で何らかの手段で(例えば患者マスタの参照などで)確認できればOKとします。
- 臨床検査の場合、既に発行したラベル、報告書との整合性の問題があるのでこれ以上は困難

テストシナリオ

シナリオNo	タイトル	概略
1	通常の検体検査の実施	<ul style="list-style-type: none">・OPからオーダーを発行する。・OFにて受付をする。・検査を開始する。・検査結果を確定する。・OFからORTへ検査結果を返す。
2	通常の検体検査の実施 (OPからの検査項目の変更)	<ul style="list-style-type: none">・OPからオーダーを発行する。・OPにて一部の項目を削除し、新たに複数項目を追加する。・OFにて受付をする。・検査を開始する。・検査結果を確定する。・OFからORTへ検査結果を返す。
3	通常の検体検査の実施 (検査システム側からの項目の追加と削除)	<ul style="list-style-type: none">・OPからオーダーを発行する。・OFにて受付をする。・検査を開始する。・OFにて複数項目を追加する。・OFにて複数項目を削除する。・検査結果を確定する。・OFからORTへ検査結果を返す。

今後の課題

- マスタ系の整備(内容、長さ)
 - JLAC-10で未定義の項目の取り決め
 - ERRセグメントの取り扱い
 - ラベル発行先など、HL7、IHEで未定義の情報
の取り扱い
-
- ご静聴ありがとうございました